

事業実績シート

1 事業の概要

協会事業名	<input type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input type="checkbox"/> 定住促進事業 <input checked="" type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
自治体(団体)事業名	平戸ブランド戦略的プロモーション推進事業補助金			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	平戸市	産業振興部 商工物産課	久富 大輝	0950-22-4111
事業期間	開始年	平成21年4月1日(8年目)		
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他[補助金]			
実施期間	(開始日) 平成30年4月1日 (完了日) 平成31年3月31日			
委託した場合の委託内容	委託先機関名	担当者名	連絡先(TEL)	
	(委託内容)			
助成事業の目的 ※住民視点を踏まえて記載してください。	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		
	平戸市自体、また平戸の産品、食、生産者及び関係団体	<p>首都圏域を中心に効果的なプロモーション活動を実施し、「平戸」の認知度向上と、地場産品の取引・販路拡大を図るため、平戸産品を「知る」「味わう」「購入できる」拠点の創出に取り組む。</p> <p>物販拠点として、首都圏でも集客力と訴求力、購買力のあるエリアにおいて平戸市単独アンテナショップの開設に合わせ、ブランド力向上が期待できる店舗と連携した物産、飲食事業を展開する。</p> <p>また、関西圏、福岡都市圏においても、年間を通じて平戸産品を流通した取引を確立し平戸ブランドの定着化を図ると共に、アンテナ飲食店舗と連携したフェア開催、観光物産展等を集客力の高い会場や飲食店で展開していく。</p> <p>首都圏、関西圏、福岡都市圏域において戦略的にマーケットを拡大することにより、さらなる「平戸ブランド」の定着・促進と繋げ、人的交流、さらには本市への定住へと繋がることを期待する。</p> <p>また、本市の地域特産品が広く認知されることにより、商品を通じた地域のイメージアップが図られ、価格の上昇、販路・取引の拡大による生産現場における「生産意欲の向上」や「地場産業の安定と後継者の確保」へも繋げていきたい。</p>		

事業実績シート

助成事業の具体的内容
※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。

1. 首都圏平戸産品活用飲食店創出事業

平戸市の地名を前面に出し平戸産鮮魚を活用したアンテナ飲食店を”平戸を味わう拠点”として定着化を図り、首都圏への鮮魚流通の拡大へとつなげると共に、観光物産情報を発信し本市の知名度向上を図った。

また、平戸産品を取り扱う首都圏飲食において、産品のPRと販売促進、テストマーケティングとしてフェアを実施し、産品の取引量拡大と認知度向上、料理人や消費者の反応を検証した。

実施店舗は、現在、鮮魚を中心に平戸産品を取り扱っている店舗とし、フェアを実施する事で農水産加工品や酒、調味料の取引へとつなげ、幅広い平戸産品の活用店舗の開拓を目指した。

2. 首都圏平戸産品販売拠点創出事業

首都圏に平戸の地名を打ち出した”物産販売拠点”として、大手百貨店内においてアンテナショップを出店し、年間を通じた物産販売による平戸ファン（顧客）の獲得、取引拡大へとつなげると共に、消費者ニーズやバイヤーによる産品評価を生産者へフィードバックし商品開発の知識として活かした。

さらに、平戸市の観光物産情報の発信や販売を多くの消費者に伝えるため、首都圏において集客力、訴求力がある、全国各地のアンテナショップが集う有楽町、銀座エリアにおいて平戸市単独のアンテナショップを開設した。

また、首都圏の複数個所において開催されている全国から選りすぐりの産品を集めたマルシェにおいて、「平戸マルシェ」を年間を通じて出店した他、共同アンテナショップで平戸産品の取り扱い、販売促進イベント等を実施し、本市の食の魅力を消費者に伝え年間を通じた安定的な取引へとつなげた。

【物販・飲食拠点】

- ・ 恵比寿三越平戸市アンテナショップ「平戸マルシェ」
- ・ 恵比寿三越平戸市アンテナ飲食店「海鮮丼屋 平戸瀬戸市場」
- ・ 平戸市アンテナショップ「有楽町ひらど商館」
- ・ 首都圏マルシェ（恵比寿ガーデンプレイス、銀座、大崎）
- ・ 共同アンテナショップ（とれたて村、あつまる）

3. 関西平戸産品プロモーション事業

平戸市公認アンテナ居酒屋「長崎県 平戸港」での取り扱い産品を増やすため、定期的なフェアの実施と新メニュー開発に取り組んだ。

また、大阪駅に隣接する商業施設であるグランフロント大阪内のウメキタ広場における物産展に出店し、関西での知名度向上を図ると共に、施設内の飲食店や小売店への平戸産品の取引のチャンスを獲得した。

4. 協議会運営費

関係団体等で構成する協議会の運営を行った。

事業実績シート

事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	<p>(事業開始の背景)</p> <p>地域資源のブランド化を推進するため、農林水産業、観光及び物産関連分野が一体となり「平戸市地域資源ブランド化推進協議会」を組織し、戦略的に物産の販路・取引拡大に取り組み平戸の地域資源のブランド化に継続して取り組んでいる。首都圏、関西圏、福岡都市圏を中心に効果的なプロモーション活動を観光の情報発信と連携し、「平戸」の認知度向上と地場製品の取引・販路拡大を図るため、平戸産品を「知る」「味わう」「購入できる」拠点の創出に取り組んでいる。</p> <p>この事業は、平戸市全体として広く関係者のコンセンサスを得ながら展開しており、平戸産品の都市圏へのプロモーション活動を軸に、地域の特産品、新商品等を活かした販売・取引促進と観光客の誘客、生産現場の安定・活性化を期待するものであり、平戸市の主要施策としても挙げられている。</p>
	<p>(経緯・現状)</p> <p>上記同様</p>

事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算
事業費 (円)		25,000,000	25,000,000	25,000,000
(財源内訳)	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債	24,000,000	24,000,000	24,000,000
	その他			
	市町振興共同事業助成金	1,000,000	1,000,000	1,000,000
	一般財源			

成果(活動)指標	指標名	指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	平戸産品物販・飲食拠点の創出	産品取引量の拡大、知名度向上へとつながることから指標として設定	回	目標 実績		
				目標達成率 (%)			100
②	平戸の食材を取扱う市外飲食店数	店舗数の拡大が取引量の向上へとつながることから指標として設定	店舗	目標			10
				実績			11
			目標達成率 (%)			110	

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価		<div style="text-align: center;"> <p>必需 (+)</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">●</td> </tr> </table> <p>私益 (-) 公益 (+)</p> <p>選択 (-)</p> </div>				●
		●					
(公益性) <input checked="" type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	(必要性) <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス						
(2) 行政関与の妥当性評価		(3) 廃止又は休止した場合の影響					
妥当性低い 妥当性高い (-) 0 (+) <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> </div>		(影響内容、程度等) 平戸市の主要産業である農林水産業、観光業に大きく貢献している事業であり、この事業なくして今後の平戸市の地方創生はないと思われる。生産者の「生産意欲の向上」や地域における「地場産業の安定と後継者の確保」のためにも必要と思われる。					

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		積極的な営業活動の成果
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地		
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある		(工夫の内容・工夫の余地がない理由) ・平戸産品飲食、物販拠点施設(アンテナショップ)への誘客、販促活動 ・新たな産品メニューの開発 ・新たな地域資源の掘り起こし
	実施予定 期 日	31年度中	
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)	
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない		この事業自体が統合した事業のため	
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)
	<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		関係団体等で協議会を組織し、役割分担を行いながら、官民一体の取り組みとなっている。
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)
	<input checked="" type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		可能な範囲の受益者負担(出展手数料等)を実施している状況である。

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		
実施予定時期					
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
具体的内容	今後も、事業内容をさらに有効性のあるものとするため、より良く改善を加えて取り組みながら継続して実施していく。				